

韓国ドラマヲノススメ

うさお &
Cacco

第二回 ホ・ジノ監督作品

韓国の恋愛ドラマと言えば、これでもかってゆーほどのいじめや、ひんぱんに起こる交通事故、すぐなっちゃう記憶喪失なんてイメージを持つ方も多いかなと思うけど、この映画たちはぜんぜんそんなんじゃない！

【八月のクリスマス】

自分の死期を知り、淡々と死への準備をする写真館の主人ジョンウォン（ハン・ソッキュ）が、八月にもらった神様からの贈り物は無邪気な婦人警官タリム（シム・ウナ）との出会いだった。死を受け入れたつもりでも、夜ひとり泣くジョンウォンの心に入ってくる暖かい思い。恋という、心にぽっかり灯るものの強さがとてもせつない。



ハリウッド映画とおさらばして韓国映画ばっか（中国映画も好きだけど）観てます。今までに観た中で一番のお気に入りがこの映画。主演のハン・ソッキュの静かな笑顔が言葉以上に何かを伝えてくれるようです。説明は極力抑えているのだけれど、決してわかりにくくなく、せつなさが自然と染入ってくるようです。しか〜し、あまりに淡い味わいのせいか、韓国映画好きの中でもこの作品が一番っていう人があんまりいない。もっと高い評価があつていいんじゃないかい？でもきっと今まで数多の映画を観て、通を自認するうさお氏は的確な評価をくれるはず！

うさお

主演の男優はちょっと顎のでた、確かにいい男とはいえないが愛嬌のある顔立ち。「めざまし TV」の軽部さんに似ているとあって、**Cacco** に反発を食らった。この男、気立てはよいが女性にもてない。かつての恋人は結婚し郷里帰り。ジョンウォンが街で会うとだいぶ迷惑そう。韓国の映画では気の強い女性がよく出てくる。でも、ジョンウォンの優しさにタリムは徐々に惹かれていきます。癌に侵され死の宣告を受けても、ジョンウォンの淡々とした人への接し方に、甘酸っぱさと切なさを感じるよ。この映画をもう一度 DVD で見る前に、日本版「8月のクリスマス」のリメイクを見ました。山崎まさよしが主演のものです。このストーリーは表現を抑えたところに肝があるのですが、山崎では顔、演技とも濃すぎます。やはりハン・ソッキュのほうが合いますね。

【四月の雪】

コンサートの照明チーフ、インス（ペ・ヨンジュン）のもとに、妻が交通事故にあったとの知らせが入る。病院に着くと、そこには妻と同乗していた男の妻ソヨン（ソン・イェジン）がいた。裏切られたふたりは、寂しさを埋め合わせるようにひかれあっていく。



韓国語講座に通うご学友たちにもこの映画の評判はあんまり芳しくない。10人のうち8人はつまんなかったって言うんですよ（面白いといった私以外のもう一人は25回観たという生粋のヨンジュン・ファン。その内の一回は日本公開4日前に韓国まで遠征して観たんだってさ！）確かに言葉少なで、時間の流れなんかは判りにくい。二回目に観たときに「ここには説明されていない時間の流れがあるんだ」と確信しました。ヨンさまの苦しそうな顔のアップで始まる冒頭に象徴されるように細かい説明は抜きで、観ているうちにだんだん置かれた状況がわかっていきます。やれW不倫だ、ヨンさま主演だってそんなことばっかが取り沙汰されてたけど、断じてこれはW不倫映画ではありません！そういうことを期待して観たら大間違い。ただね、ヨンさまは素敵だった。その気持ちがある、ないで評価ってのは分かれてしまうんでしょうか？

うさお

ヨンさまは別にそんなに良い男じゃないぞ。単に氷川きよしのようにおばさんたちに愛想が良いだけじゃないか。事故の家族同士が、事故を起こした二人が不倫の関係にあったことに気づき、復讐のために不倫に走ってしまう。そんな単純なことではなくそこに本人達の複雑な心の葛藤があるのよっ！とは、**Cacco**の言だけれども「そ～かなあ？」

もっとドンパチがなきゃあなあ。心理的描写のある深刻な画面に、ヨン様の歯の白さと歯並びの良さは変な不自然さを感じます。嘘っぽい映画に仕上がっているね。

【春の日は過ぎ行く】

妻と死別した父、痴呆の祖母、おばの三人と同居している若者サンウ（ユ・ジテ）は、放送会社のサウンド・エンジニア。冬のある日彼はある地方放送局のウンス（イ・ヨンエ）から依頼を受け、ラジオ番組で使う自然の音を採集することになる。そして、一つの番組を共同で作りに上げていくことになった二人は、やがて自然な成り行きで恋におちる。



この映画は「四月の雪」より説明ないんじゃないかな。わたしも一度観たきりなので、よく事情がわかってないかも。韓国仲間にも振り向きもされない超地味な映画です。主役の男の子の家庭事情なんかは日本との差を感じます。主役の女性はなんということでしょう、チャングムのイ・ヨンエです！この映画もチャングムとはまったくの別人！ショートカットが清楚でとっても綺麗。これならチャングムの頭脳明晰、才気煥発のところが嫌いのうさおも好きになるんじゃないかなー。



うさお

この作品は殆ど記憶にないなあ、本当に観たんだろうか？ **Cacco** は寝てたのよって切り捨てますが、そうかなあ？イ・ヨンエって女優がよく判らないので、（大長吟はしっかり見ましたけど）もう一度観たことのある李英愛の作品を振り返って見ました。「JSA」えっ、これに出てたの？何処？何処？スイス軍将校？あれってちょい役だし、特別出演だったんでは。

うさおさんはすぐ映画観ながら寝ちゃうし、ちゃんと観てもすぐわすれちゃうんですよ。ホ・ジノ監督作品は今のところ、この三作が全て。淡々とした抑えた表現手法は三作品に共通しています。言葉少なでの説明不足は想像力で補えば、好きなだけ自分勝手な解釈が楽しめます。最近チャン・イーモウ監督の「単騎、千里を走る」を大いに楽しみにして観たのですが、健さんのナレーション付きってのは説明過剰じゃないでしょうか？

ホ・ジノ カムドク チャクピョムン ススハジマン ノム チェミイッソヨ。

コク ホワジュセヨ。

ホ・ジノ監督作品は地味だけど、とっても面白いよ。ぜひ見てね！と言ってます(^_^)